



医療圏で最高レベルの 「消化器内科」に

ご紹介ください

地域連携課



登録医ならびに近隣医療機関の皆様には平素より格段のご高配を賜り有難うございます。

当院消化器内科は、ESD等の内視鏡手術、IBD診療、ERCPや総胆管結石の治療、吐血・下血の緊急内視鏡治療にも対応できる医師が揃っておりましたが、さらに昨春には前兵庫医科大学准教授の岩田恵典（副院長・消化器病センター長）医師のチームが着任し、肝胆膵領域においても医療圏で最高レベルの内視鏡治療を提供できる陣容となりました。

カプセル内視鏡に加えて小腸ダブルバルーン内視鏡も導入し、消化管全体の検査のみならず、胃切除後の胆道系の治療も可能です。

また、熟練した専門医でなければ困難なEUS（超音波内視鏡）下の治療、閉塞性黄疸に対する緊急胆膵内視鏡治療も行っておりますので、難渋される症例がございましたら是非ともご紹介ください。

IBDやESDにつきましても、専門医が充実しておりますので引き続きご紹介ください。

地域連携課では、諸麥（もろおぎ）、島崎、藤田、中井、前田、山許（やまもと）、中松の7名が対応させていただきますので、いつでもご連絡ください。